

■教育連携講座

理科と数学の奥深さと面白さを小中・高校生に知ってもらおうと文部科学省提案のプラン、サイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）のうち、二月に申請した「教育連携講座」が採択され、平成十五年七月二十八〜三十日に実施しました。

化学系教員により十年間実施していた「夢化学21」の財源が厳しくなったこともあり、SPPに注目してい

をかけては」との提案もいただきましたので、本学と生駒高校と北大和高校との連携で申請することができました。

■体験型実験

我々の今回のテーマは「ブラックボックスをのぞいてみよう」ということで、身の回りのモノや現象を現象論で終わらせず、その理屈を試行錯誤し理解を深めるといふものです。「プラスチックを作ろう」（梶原篤助

教授）、「風邪薬を作ろう」（山崎祥子教授）、「分子をコンピュータで作ろう」（山邊信一教授）、「リズムとパターンをつくろう」（中田）という四名の教員で行いました。もちろん四名の教員だけでは成立しませんので、大学院生と学部学生の皆さんの積極的な協力（事故が起こらないよう、実験が成功するよう何度もリハーサルをしてもらいました）のおかげで、参加高校生六十名の体験型実験を無事成功させることができました。

SPP

理科大好きプラン（文部科学省） ——奈良教育大学での取り組み——

理科教育講座・助教 中田 聡

ました。

しかし初体験ということもあって「どの高校と連携したらよいのか？勝手に特定の学校と連携して問題はないのか？」と、課題満載でしたが「適切」が後押ししてくれ、まずはスタートすることが重要と感じ、門前払いを覚悟で営業活動に飛び出したのです。

すると幸運にも本学出身者である生駒高校の多賀義彦校長先生に営業活動の機会だけでなく即快諾をいただき、さらには「北大和高校にも声



プラスチック合成の実験風景

猛暑の中、三日間受講された両校の生徒さんは礼儀正しく、熱心で、実験を楽しんでいる姿が印象的でした。もともと生徒さんも実験が好きなのだと実感もしました。初日にはNHKの取材もあり、夕方の関西版の放送「もとも」と関西」などで二度も放映され、参加した高校生や協力してくれた大学院生・大学生の気運も高まったようです。

■「理科大好き」に貢献
本学で行った「理科大好きプラン」はこれだけではありません。字数の関係で詳細をお伝えできないのが残念ですが、奈良女子大学付属高校との物理学に関する講義の連携講座（久保武治教授代表）、西大和学園とのSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）での科学英語の講義（梶原先生と中田担当）、そして梶原篤先生が仕掛け人としてご尽力いただいた若草中学校との研究者招聘講座（石田助教と中田担当）などがあり、奈良県の理科教育に少数精鋭ながら貢献しているのではと「ならやま」を通じてアピールさせていただきま



化学リズムの実験風景